



新年を迎え、新たな気持ちで頑張りたいと思ってから、あっという間に1ヶ月が過ぎてしまいました。今年は、インフルエンザに加え、新型コロナウイルスが、世界に拡散しています。不安な情報が飛び交っていますが、正しい知識と情報を得て、冷静に対応をしよう。

マスクで表情が隠れてもマスクの下は笑顔を忘れずに看護をしましょう(^ _ ^) !



新人研修：院内留学（10～12月）

看護の世界は無限大！
他部署の看護実践を知り看護の視点を広げよう！

目的：自部署以外の看護実践を知り、
看護の多様性を知ることが出来る



新人看護師の学び・感想 一部抜粋

- 今回の研修で、安全に確実に検査を行うための病棟での看護の役割や根拠を学ぶことができました。（放射線科）
- 化学療法による副作用症状を和らげ、安楽に治療を受けられるように、環境や体位を整えること、曝露防止の徹底が大切だと学びました。（化学療法センター）
- 患者さんの今までの生活を尊重したうえで、一緒に考えて改善していくことが、これから先の暮らしを継続できることを学びました。（訪問看護）

研修先指導者からのコメント 一部抜粋

- 急性期を脱した後、退院後どのように生活していくのか目標を決めて関わっていくことが大切だと思います。IADLを細かく評価し、退院後不安なく生活できるよう準備しています。（地域包括ケア病棟）
- 術前訪問では短い時間で、たくさんの情報を収集するためには病棟の日々の記録がとても重要になります。病棟と手術室が連携をとり、患者さんが安心して手術を受けられるように一緒に努力していきましょう。（手術室）

新人研修も「看護実践発表」を残すのみとなりました。1年間の成果を共有し、2年目に向けた目標を立ててもらいます。



今年の国家試験の日程は、
助産師：2月13日（木）
保健師：2月14日（金）
看護師：2月16日（日）です。

ようやく、新潟県内で看護職の国家試験が施行されることになりました。少しでもストレスなく、よい環境で試験を受けてもらいたと思います。寒さに負けず、頑張り！



看護職部門 最優秀賞 第9回「忘れられない看護エピソード」

部屋の模様替え合戦

後藤 史保子さん(岐阜県)

ナースコールが鳴る。510号室。

悪性リンパ腫のAさん。化学療法を行うが効果がなく、再発を繰り返している。入院も長期化していた。1日に何度もナースコールが鳴る。

看護師の対応や入院生活の不満を漏らしていた。

看護師3年め。チーム編成があり、私はAさんの担当になった。頻回のナースコール、Aさんから聞く不満の声。私に受け止められるだろうか……。

今日もナースコールが鳴る。Aさんの部屋に向かう足は重かった。訪室するとAさんが話し始めた。「治療は効かないし、こんなに足も腫れちゃって。でもね、私はまだ1人で何でもできるの」と。

そして、悲しそうな顔で部屋にあるポータブルトイレに眼を落とした。しばらく、沈黙が続く。そしてAさんは、体の変化や迫りくる死の不安などをゆっくり話してくださった。部屋を出るとAさんの娘さんが廊下に立っていた。「母は教師をしていました。生徒から頼られる立場だったのに、今は誰かの手を借りなければならぬことがつらいんだと思います。家でも何でも自分ではないと気が済まない人でした」と娘さん。

その日から私とAさんとの部屋の模様替え合戦が始まった。Aさんの部屋は個室、トイレがある。Aさんの「まだ1人でできる」の言葉。ベッド、床頭台の位置を変え、部屋のトイレまでの距離を縮める。2人でベッドからトイレまでのつかまる位置を確認する。日に日に、Aさんの動ける範囲が狭まる。また、2人で模様替え。何度も繰り返した。

徐々に状態が悪化し、トイレへの移動は難しくなった。「もう、無理だね。今まで付き合ってくれてありがとう」とAさん。私は「まだ、着替えは自分でできるじゃないですか。ごはんも自分で。まだまだ、付き合いますよ」と応える。「そうだね。まだできることたくさんあるよね」とAさんはうれしそうに笑っていた。

患者のささいな言動に耳を傾け、限られた時間の中でどう生きたいのかを一緒に考えること。患者の思いに寄り添う看護師であり続けたい。

他にも素敵なエピソードが、日本看護協会のホームページから確認できます。また、第10回の「忘れられないエピソード」を募集しています。応募してみてくださいはいかがですか？



当院にも、事例を振り返りレポートにまとめたものや、「心に残った看護」などの紹介を通し、感動するエピソードに触れる機会があります。看護の魅力を再確認していきましょう！